RIPPLE SAILING CLUB
NO. １１７

月刊 １９９２・６．２０

RIPPLE

（発行）　５００円
リプル・セイリングクラブ
〒２３８−03
神奈川県横須賀市長井２−１１−１
TEL　０４６８−５７−１７１１

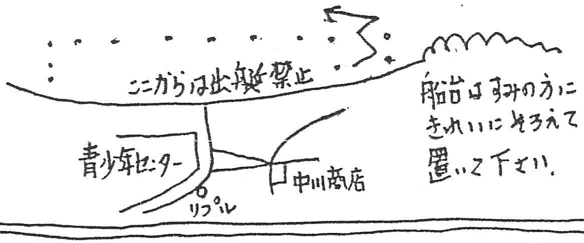
出艇場所が変わります（7/1〜8/31）

ここ長浜の海岸は日増しにあの難民キャンプのような海の家が立ち並びだし、８月いっぱいまで我々セーラーにとってうっとうしい夏がやってきますね。

例年のように7月１日から８月３１日までは、海の家の営業が始まりますので、今まで出していた所からは出せなくなり、海に向かって右端からの出艇になります。

そこで、いくつかのお願いがあります。まず、出艇場所まではこの村の生活道路を通って海まで行くのですが、必ずといってよいほど車と出くわします、そんなときは民家の空き地をちょいとお借りして車優先と行きましょう。また、浜に着いたら船台は端の方に揃えて置いて下さい。そして、出艇の時は遊泳区域とセーリング区域とがオレンジのブイで仕切られていますので、遊泳区域には入らないようにセーリングをして下さい。そして、もしもたもたして遊泳区域に入ってしまったら自分の技　素直に認め、人力で出るようにして下さい。

まー海水浴は夏の一時しか出来ないが我々は１年中使用できるのであるから、うっとうしがらずに大目にみて上げましょう。



ベストコンディションのリプル・カップ

去る６月１４日前半最後のリプルカップが行われました。
天気予報では午後から雨が降るという相にくの予想でしたが、薄日がさす高曇りに始終し、また風も振れることが無い南の風３−５m／sとまずまずのレースコンディションの中で３レースが行われました。
結果は今月号の舵のディンギー特集に、うるさいオヤジセーラーとして出ている市川氏が全てに安定した走りで完全優勝を成し遂げました。
　果は下記の通りです。

		１st	２nd	３rd	t・p
１	市川	１	１	１	２．２５
２	横森	２	２	２	６
３	西	３	５	４	１２
４	松井	４	４	７	１５
５	竹田	７	６	３	１６
６	鈴木	９	３	６	１８
７	村山	８	７	５	２０
８	杉田	５	９	８	２２
９	藤村	６	８	１０	２４
１０	小池	１０	１０	１１	３１
１１	東	１２	１１	９	３２
１２	河合	１１	１２	１２	３５

そして、レース終了後は久しぶりのバーベキューで薄暗くなるまでレースの反省会が（マジでやっているんだぜー）行われる中、コミッティーをしたS氏はただただうんまいビールをグビグビと飲るのであった。
７月８月はお休みで９月の第２週の日曜日にまた再開致しますので、腕試しという感じでの参加をお待ちしております。
そして、またまたバーベキューを行います。これがうんまいんだ。

スポット対抗ヨット駅伝（6/7）

去る６月７日恒例になっておりますスポット対抗のヨット駅伝が８回目にして初めて森戸海岸で行われました。
参加チームは５スポット１３チームが集まりました。
そして我がリプルチームはまず、Bチームは長谷川、小林／♀川浪（現地調達）、高橋、山崎、そしてAチームは小池、土川／♀伊藤（通研受付嬢）、河合、塚田の選手団での参加である。
当日は朝一番で大雨に見回れ、そして雨があがる頃には殆ど無風という状態でしたが、時間と共に薄日がさし出し、風速も徐々に上がりだし何とかレースが出来そうなコンディションになってきたのである。
定刻通の１１時、砂浜からのルマン方式によるスタートで熱戦の火ぶたは切られたのである。
第一レグはそのチームの有力選手を配しているためフィニッシュは団子の状態で順位を取るのが精いっぱいといった感じなのだ。
トップに入ってきたBチームの長谷川は現地調達の女性と二人三脚の足並みが揃わず、陸上であっという間に４位に転落という大失態をやってしまうのである。
そして、Aチームも上位に食い込んでの第２レグへのバトンタッチとなったのであるが、そのころから風がめちゃくちゃ振れ出し運がかなりのウエイトを占めるレース展開となってしまった。
我がリプルA、Bチームは運に見放され、ずるずると順位を下げだし、終わってみるとBチーム６位、Aチーム１２位とまーこんな所かなという結果でした。
そして、優勝チームは地の理を活かして始終トップを走り続けた葉山Bチームがヤマハのミニバイクを手中に納めたのである。

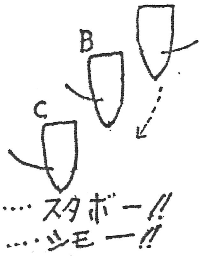
１位	葉山B	７位	F・EA
２位	オーシャンビュー	８位	M・BD
３位	F・EC	９位	M・BA
４位	F・EB	１０位	葉山A
５位	M・BC	１１位	M・BB
６位	リプルB	１２位	リプルA
		１３位	F・ED

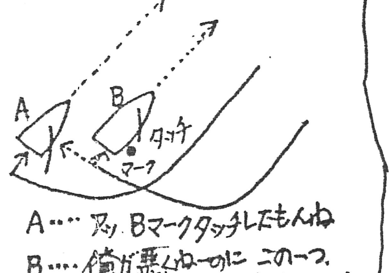
大島クルージング　あと２名

恒例の大島クルージングを募集致しましたところ、現在4名（＋近日中に２名追加）の参加者になっております。
後、先着２名程ですので休みの調整が付きましたらご連絡を下さい。

追伸・・・水深１００m程にいる大物を狙いますのでそれに対応した道具を用意して下さいね。

こんな時どうする例題２例





◎さて A・B はどないすれば良かったのか